



第 48 回 鉄構塗装技術討論会 開催のご案内

主催：一般社団法人 日本鋼構造協会

協 賛

(一社)色材協会 (公社)土木学会 (一社)日本橋梁建設協会
(一社)日本橋梁・鋼構造物塗装技術協会 (一社)日本鉄鋼協会
(一社)日本塗装技術協会 (一社)日本塗料工業会
(一財)日本塗料検査協会
(公社)腐食防食学会 (公財)スガウエザリング技術振興財団

■本討論会は土木学会認定 CPD プログラムに申請予定です。

社会基盤構造物の老朽化対策の一環として、わが国では特定の構造物に対し定期点検を行うことが法令によって義務付けられました。しかしながら依然として、道路陥没や橋梁部材の破断といった、社会に衝撃を与える重大な事故が相次いで発生しています。厳しい財政状況や人手不足が深刻化する中、高度経済成長期に整備された多くの道路や橋梁はすでに供用から数十年が経過しており、「点検のための点検」から、「早期の措置・予防保全型メンテナンスのための点検」へと着実に転換することが、社会全体で取り組むべき喫緊の課題です。この課題を達成するために必要なことの一つが、構造物の維持管理や更新における高耐久化、生産性向上、効率化・省人化、低コスト化に資する技術の開発と、その成果の社会実装です。特に、鋼構造物においては腐食が構造健全性に深刻な影響を及ぼすため、防食塗装の果たす役割や関連する技術開発はきわめて重要です。

数ある防食技術の中でも、塗装は明治以来、鋼材の防錆・防食技術として長年にわたり適用されてきた実績と信頼性を有しており、現在においても重要な地位を占めています。最近でもなお、従来よりもさらなる高耐久化、施工効率の改善、環境リスクの低減、労働安全衛生の確保といった様々な方向性で、塗料・塗装技術の改善が精力的に続けられており、この分野のさらなる発展が期待されています。本討論会は、これら塗料・塗装に関連する技術の発表と討論の場として開催されるものであり、鋼構造物に携わる多くの方々に積極的にご参加いただくことを期待しております。鋼構造物塗装に関する諸問題の解決に向けて、自由な発表を歓迎いたします。

次頁の要領にて開催いたしますので、奮ってご参加くださいますよう、また、関係各位へのご周知を、重ねてお願い申し上げます。

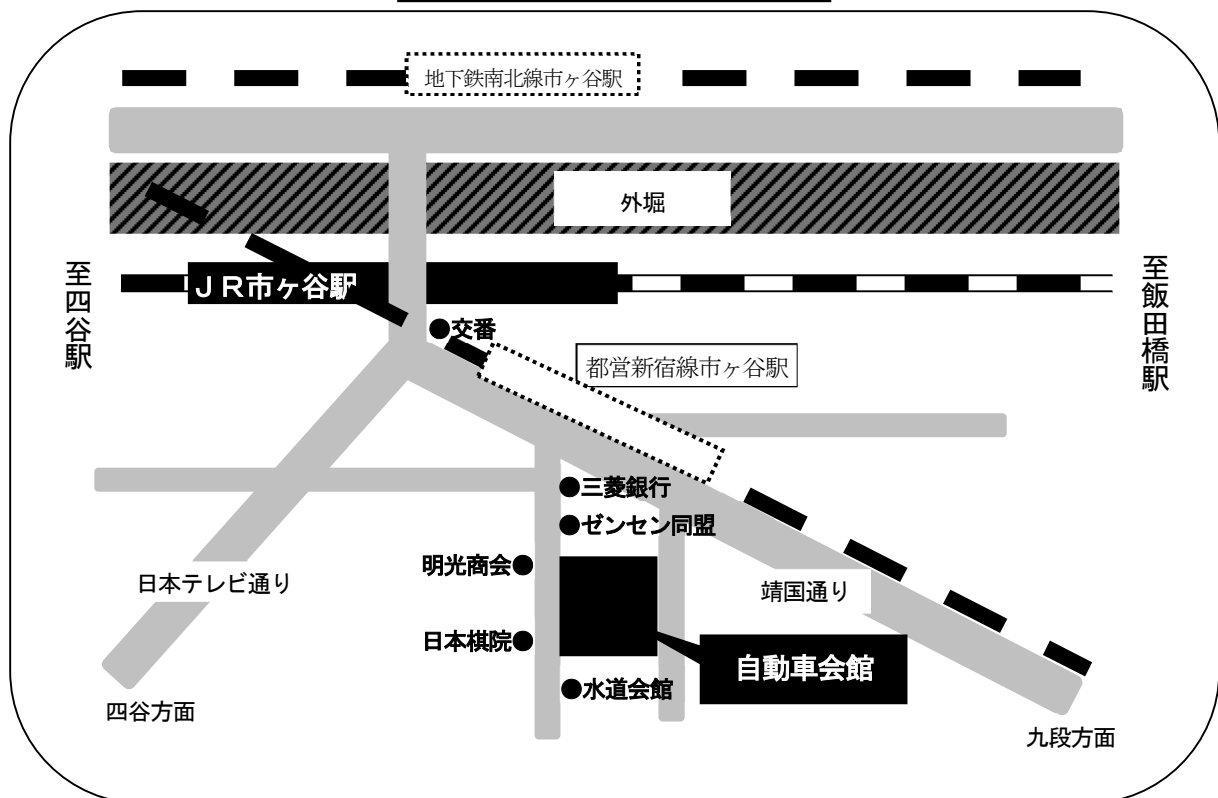
今年度も本討論会へ多数のご参加を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

鉄構塗装技術討論会実行委員長：富山 禎仁（鋼構造物塗装小委員会委員長）

開催要領

1. 日 時：2025 年 10 月 23 日(木) ～ 24 日(金)
2. 会 場：自動車会館 2 階 大会議室
〒102-0074 東京都千代田区九段南 4-8-13 (電話) 03-3264-4719
3. 参 加 費：会員（協賛団体も含む）…11,000 円（消費税込み）
一般 …14,300 円（消費税込み）
官公庁職員・学生 …11,000 円（消費税込み）
4. 申込方法：下記よりお申込下さい。
指定の用紙を協会宛てにメールしてください。
申込期日は、10 月 3 日(金)とします。
※お申込み後の参加取り消しおよび欠席者への受講料払い戻しは致しませんので
ご注意ください。（後日、討論会発表予稿集を送付させていただきます。）
5. 問合せ先：一般社団法人日本鋼構造協会「第 48 回鉄構塗装技術討論会」係
【 E-mail: jssc-paint@jssc.or.jp 】
〒103-0027 東京都中央区日本橋 3-15-8 アミノ酸会館ビル 3 階
TEL. 03-3516-2151

会場案内図



【第1日】 10月23日（木）

10:30～10:35		開会の辞	鉄構塗装技術討論会 実行委員会 委員長：富山 禎仁（(国研)土木研究所）		
司 会：藤城 正樹（日本ペイント(株)）					
①	10:35 ～ 11:05	無溶剤無機形塗料と無機有機ハイブリッド塗料の性能及び施工性の報告	○内藤 義巳 （一社）無機質コーティング協会 （(株)セラアンドアース）		平良一夫（(一社)無機質コーティング協会） 平良考之（(一社)無機質コーティング協会）
②	11:05 ～ 11:35	省工程型塗替え塗装系の追跡調査結果	○坂本 達朗 （公財）鉄道総合技術研究所		和田直樹（西日本旅客鉄道(株)）

<昼 休：11時35分～12時50分>

特 別 講 演			（司 会：坂本 達朗（（公財）鉄道総合技術研究所））	
12:50～13:50	港大橋の建設・耐震・維持管理（仮）		阪神高速道路株式会社 管理本部 管理企画部 保全技術第二課 課長代理 熊澤 美早	

<休 憩：13時50分～14時05分>

司 会：小林 泰之（中国塗料(株)）				
③	14:05 ～ 14:35	ヒドロキシ酸系素地調整剤による既設鋼材の素地調整（第2報）	○山田 新 スズカファイン(株)	中西 功（スズカファイン(株)） 鈴木隼人（スズカファイン(株)） 金原風雅（スズカファイン(株)） 熊谷好高（スズカファイン(株)） 藤井 隼（スズカファイン(株)）
④	14:35 ～ 15:05	パルスレーザーによる塗膜除去及び表面処理について	○平山 武夫 （一社）日本パルスレーザー振興協会	三羽和紀（（一社）日本パルスレーザー振興協会） 細田 武（（一社）日本パルスレーザー振興協会） 都築幹夫（日本ペイント(株)） 細瀬太志（（株）エコクリーン）

<休 憩：15時05分～15時20分>

司 会：松野 英則（大日本塗料(株)）				
⑤	15:20 ～ 15:50	鋼構造物塗装のVOC削減に関する検討（Ⅰ）－水性塗料の適用性検討（その10）－	○藪見 尚輝 大日本塗料(株)	富山禎仁（（国研）土木研究所） 船山真里（（国研）土木研究所） 大貫達央（関西ペイント(株)） 田代 稔（神東塗料(株)） 小林泰之（中国塗料(株)） 松木 大（日本ペイント(株)）
⑥	15:50 ～ 16:20	鋼構造物塗装のVOC削減に関する検討（Ⅱ）－無溶剤形・低溶剤形塗料の適用性検討（その9）	○田代 稔 神東塗料(株)	富山禎仁（（国研）土木研究所） 船山真里（（国研）土木研究所） 大貫達央（関西ペイント(株)） 小林泰之（中国塗料(株)） 松木 大（日本ペイント(株)） 藪見尚輝（大日本塗料(株)）
⑦	16:20 ～ 16:50	大型試験桁を用いた金属溶射の耐久性調査 ～沖縄地区で20年曝露した試験板について～	○大庭 哲也 （（一社）日本橋梁建設協会）	花輪 務（（一社）日本橋梁建設協会） 森井茂幸（（一社）日本橋梁建設協会） 桑名弘暁（（一社）日本橋梁建設協会） 富山禎仁（（国研）土木研究所）

【第2日】 10月24日（金）

司 会：田代 稔（神東塗料(株)）

⑧	10:00 ～ 10:30	飛来塩分量の多い沿岸の橋梁下の暴露場における鋼材の腐食しやすさに関する研究（仮）	○西崎 到 （一財）土木研究センター	三浦正純（（一財）土木研究センター） 今井篤実（（一財）土木研究センター） 中島和俊
⑨	10:30 ～ 11:00	無機ジンクリッチペイント塗膜凝集破壊時における1種ケレン・2種ケレン比較と塗替え塗装仕様耐久性評価	○和田 公輝 大日本塗料(株)	黛 泰弘(大日本塗料(株)) 清水悠平(大日本塗料(株)) 飯塚洋介(名古屋高速道路公社)
⑩	11:00 ～ 11:30	火災による熱履歴を受けた鋼鉄道塗膜の劣化挙動に関する研究	○今川 雄亮 大阪工業大学	坂本達朗((公財)鉄道総合技術研究所) 本田正和(嵯峨野観光鉄道(株)) 中山太士(嵯峨野観光鉄道(株)) 大山 理(大阪工業大学)

＜ 昼 休：11時30分～12時45分＞

特 別 講 演 （司会：富山 禎仁（前掲））

12:45～13:45	ISO 12944の改正動向、PFAS規制への対応状況など（仮）	田邊 弘往
-------------	----------------------------------	-------

＜ 休 憩：13時45分～14時00分＞

司 会：太田 伶美（関西ペイント(株)）

⑪	14:00 ～ 14:30	環境にやさしい塗膜はく離剤工法による塗り替え塗装適性の評価～沖縄暴露試験20年後の結果	○臼井 聡 インパロワンシステム(株)	富山禎仁((国研)土木研究所)
⑫	14:30 ～ 15:00	腐食環境下にある鋼鉄道橋へのブラストの適用	○佐藤 和久 嵯峨野観光鉄道(株)	飯塚友博(嵯峨野観光鉄道(株)) 松本奎哉(嵯峨野観光鉄道(株)) 土井大雅(嵯峨野観光鉄道(株)) 中山太士(嵯峨野観光鉄道(株))
⑬	15:00 ～ 15:30	湿粒ブラスト開発工法の新規性と素地調整面品質確保	○高木 録郎 (株)HART	猪狩達夫((株)中央コーポレーション) 佐々木 麗((地独)岩手県工業技術センター) 福島正也(大和化成(株)) 西沢善弘((一社)FSS 工法協会)

＜ 休 憩：15時30分～15時45分＞

司会：矢ヶ部 菜月（(株)IHI）

⑭	15:45 ～ 16:15	電力設備での重防食塗装の検討例と課題	○市場 幹之 東京電力ホールディングス(株)	
16:15～16:35		－ 小委員会報告 － 「重防食塗装の現状と今後の展望」	(一社) 日本鋼構造協会 鋼構造物塗装小委員会	
16:35～16:40		閉会の辞	鉄構塗装技術討論会 実行委員会 幹事長：坂本 達朗（前掲）	